

先端科学セミナー

今回のテーマは「光合成」です。「光合成」とは何ですか？と聞かれたら、皆さんはどのように答えるでしょうか。植物が「光合成」を行うことはよく知られていますが、正確に「光合成」のしくみを説明するのは、とても難しいのではないかと思います。このセミナーでは中学や高校の教科書に記載されている植物の光合成のしくみを復習しながら、大きな植物だけでなく、小さな微細藻類と呼ばれる生き物の光合成の秘密を紹介します。光合成に興味がある人、植物に興味がある人、小さな生き物に興味のある人、学び直しの保護者の方、中高で光合成を教えている教員の方、等々、女子中高生だけでなく一般の方のご参加も歓迎します。

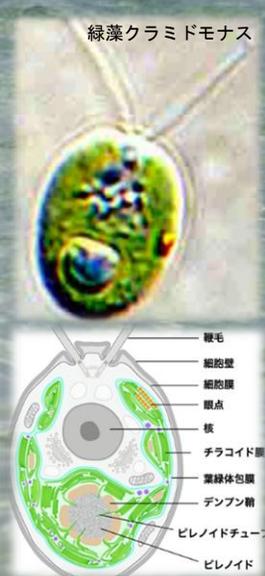
第 13 回

「光合成をする小さな生き物の話」

講師：福澤秀哉 京都大学名誉教授（生命科学研究科研究員）

皆さんは、田んぼや沼地の水が、お抹茶のような緑色に見えたことはありますか。そこには多くの植物プランクトンが観察できます。彼らは、太陽の光エネルギーを使って光合成をして、二酸化炭素からデンプンだけでなく酸素を作り、地球の生態系を支えています。二酸化炭素は地球温暖化の要因の1つですが、今の空気中には0.04%しか含まれていません。つまり、光合成をする生物にとっては、自分の「栄養」となる二酸化炭素が不足する環境で生活しなくてはいけないので、彼らは光合成を維持するいろんな工夫をしています。栄養がなくなると生き物は、場合によっては死んでしまいますが、そうならないように、生物はいろんな工夫をしています。ここでは、葉緑体で光合成をしながら水中を遊泳するクラミドモナス（和名はコナミドリムシ）を例にとり、様々な環境で光合成を続けて生きる、生物の巧みなしくみについてお話しします。

司会：加藤 美砂子（お茶の水女子大学 理系女性育成啓発研究所 所長）



日時：2023年6月11日（日）14時～15時30分（講演・質疑応答）

会場：お茶の水女子大学 国際交流留学生プラザ2F 多目的ホール
オンラインとのハイブリッド開催

※ 感染拡大の状況によっては全面オンラインに変更となる場合もあります。

対象：女子中学生・高校生、保護者、教員

主催：お茶の水女子大学 理系女性育成啓発研究所

申込み・問い合わせ先

申込フォーム

<https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Plone/stem/13sentan>
から、6/8（木）までにお申し込みください。

お茶の水女子大学 理系女性育成啓発研究所

E-mail：ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp TEL：03-5978-5825 FAX：03-5978-2650



要申込